

2026年4月

白井なおこ レポート VOL.31

日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこREPORT 発行日：2026年4月20日
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4階
TEL:042-514-8695 FAX:042-514-8697 E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



クォータ制を推進する会の院内集会に参加(3月6日)。改選後の日野市議会は男女同数のパリティ達成！次は市の管理職!?

子どものSOSが届くまでに ～いじめ防止対策推進条例を活かしていこう～

日野市内の小中学校では計 1100件を超えるいじめが認知されています(2024年度)。このような状況を背景に、日野市に「いじめ防止対策推進条例」ができました。子ども達のSOSはいじめだけが原因ではありませんが、条例を活かしていくことで SOSが届くまちにつながると考え、質問しました。あわせて、エネルギーの地産地消をすすめる質問もしました。

SOSの出し方・受け止め方



学校では東京都の教材を活用し SOSの出し方の授業が行われ、また市では虐待に関する出前授業を全小学校で展開し、相談の方法を伝えています。学習者用端末からは多くの相談が寄せられるものの、学校に偏りがあることがわかりました。相談しやすいよう、**柔軟な学習者用端末の持ち帰りなど**、運用の協力を求めました。

条例においてのいじめの定義は子ども間ですが、先生や親の言動に傷つく子どももいます。また地域で気になる光景を見かけた際には、どのように行動したらよいでしょうか。**具体的な声かけや対応**についての研修や啓発の充実を求めました。



教材となっている映像「ワカバノあかり」ぜひご覧ください。



子どもなんでも相談はこちらから

生きる力を身につける教育を

条例の前文には、いじめは**人権侵害**であることが

明記されています。学校では様々な授業の中で人権について学んでいるようですが、人権を軸とした包括的性教育も含め、生きていく力を育ていける授業の充実についても求めました。

教育長からは、**非認知能力**(学力では測れない社会的能力)を高める重要性について、市長からは行政機関としてできることに取り組んでいく旨、答弁がありました。

私たち一人ひとりが、この条例を活かしていこうという姿勢を大切にしていきましょう。

地域エネルギー会社を日野市に!

石油やガスの供給が懸念されるいまこそ、**エネルギーの地産地消**をすすめていくべきと考えます。脱炭素のみならず、地域でお金と資源がまわる**循環型社会**へとつながります。江戸川区の取り組みを例に、**地域エネルギー会社**をつくることを目指し、まずは話し合いのプラットフォーム立ち上げを提案しました。一緒に考えていきませんか。

日野市はエネルギー循環・地産地消を目指していた!(2002)

